



とつか 2020年4月会報 第306号

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

2019 主 題 “Building today for a better tomorrow”

スローガン “On the MOVE!!” 「さぁ動こう!!」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

主 題 “Action!” 「アクション！」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)

主 題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 “Innovation with courage, action with heart!”

副 題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」 “Hop, Step and Jump with all Y'smen”

2020 湘南・沖縄部部長(DG) 森田 幸二郎(沖縄)

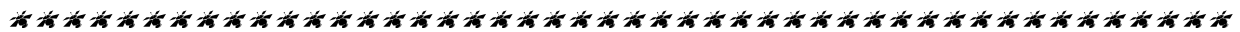
主 題 「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

クラブ会長 浦出 昭吉 「メネットの支援に感謝し、30周年に向けてさらに仲間を！」

副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝

主題



ワイズメンズクラブ国際協会
第23回東日本区大会
2020年6月6日(土)
会場 ホテル日航ノースランド帯広(北海道十勝の国帯広市西2条南13丁目)
東京ストクラブ：十勝クラブ 札幌クラブ：北海道部会クラブ

会員ひと言

鈴木 ひろ子

『一日も早く普段の生活を…』

一年で一番、色々楽しい行事が目白押しこの季節、コロナウィルス騒ぎですべての行事がお流れ状態、先が見えれば我慢のしようがあるものの、不安と焦りばかりが先に立ち、買占めなどの騒ぎまで起きたりして…、一体これからどうなっていくのかしら…。

私の住まいの近くにある病院では、医師と看護師さんが陽性に…で、一時は大いに緊張しましたが、結局大事には至らず、まずはひと安心で…といった人騒がせなイットキもありました。

こんな毎日を送っている中、この年になりますと知り合いやお友だちからの連絡は、不幸な報せばかりがめつきり増え、‘ああ また…’と、日々暗くなるばかりです…。

せめて気分的に少しでも…と思い、お花などを買い求めに出掛け、家の中を春にしてみました。これで少しは気分的に落ち着きました…。皆様も、色々ご苦労されておられると思います。今の処、取りあえずは気分転換、目の前の出来ることをやっていくしかないと思っています。いつもしようと思っただけでも中々やれなかったことなどを、この際に…。

一日も早く普段の生活に戻って…と願わずにはおれません。クラブの皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。

◎今月の聖句◎

主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずですよ。

—コリントの信徒への手紙— 15章58節から—

イースターを迎え、神の恵みとこの世のすべての問題や罪、死などから打ち勝つことを切に願い、祝福が皆様一人ひとりの上に満ち溢れますことをお祈りしております。

強調月間

LT

LT (Leadership Training) は、クラブ役員のリーダーシップの開発・向上を目的とする研修をいう。

東日本区では、区が主催し、毎年この時期に部役員やクラブ役員の研修を実施しているが、今年度はノロウィルス感染防止のため、大事をとって中止となった。

部単位・クラブ単位でのLTもあり、特に入会間もないいわゆる新人には、きめ細かいトレーニングが必要となる。

ご自分が、クラブに入会したての頃の事を思い起こしてみるのも意味のあることかもしれませんね…。

3月在籍者数	3月出席者数	出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	13	メ	ン	4	31%	他	(円)	(g)	(円)	(円)
メネット	8	メネット	0	前月迄	0	0	0	0	0	0	0
		ゲストら	0	当 月	0	0	50,000				0
計	21	合 計	4	累 計	0	0	50,000		0		0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

この欄は、いつもの月であれば ‘第1例会報告’ が浦出会長から詳細・リアルに掲載されるところ、コロナウィルスのお陰で、3月例会を始め会合はすべて中止になりました。エディターとしては何とかしてこの欄を…と思いついたのが、これら中止となった会合の内容に触れながら、できれば将来の資料の一部になることを…という思いで…。 はてさて ‘前置き’ が…。



まず左のチラシにもあるように、11年3月に起きた東日本大震災を忘れまいと、2年後の13年から始まったYMCA主催のチャリティーコンサート、今回で8回目となるはずでしたし、午前の街頭募金を含め、今年は3月8日(日)、第1例会振替え、またクラブが前売り券をまとめ買いするなど、中止のショックはYMCA共々決して少なくありませんでした。とくに昨年からは、日ごろ湘南とつかYMCAが月の第3火曜日に毎回200名前後のご常連を集めて開催している ‘うたごえ広場’ の皆さんや琴まで加わってのクラシック鑑賞のひと時が消えたことは、私には痛恨の極みでした。そんな中、青空の下、第5回BAPYチャリティーゴルフ大会が、実行委員会の勇気と英断の下、開催され、大きな成果を挙げられたとのこと、大いに意義深いプログラムだったのではないかと、心から羨ましくも、また感じ入った次第です(別欄・吉原 訓実行委員報告ご参照)。 ➡

☆第5回横浜YMCA子ども支援(BAPY)のための

チャリティーゴルフ大会報告☆

吉原 訓 実行委員会委員
3月6日(金)、戸塚C.C.において開催された本大会は、昨年の9月に実行委員会が発足し、大会に向け何度も打合せを重ねてきました。

1月30日、WHOは中国を発端に世界に広まった新型コロナウイルスによる感染症に対し「世界的緊急事態」を宣言し注意を喚起しました。大会会長工藤誠一理事長、田口努総主事、久保勝昭実行委員長、鈴木茂委員、吉原委員、横浜YMCA職員ら実行委員の判断は、○競技会は実施する。○表彰式・パーティーは行わない。○上位入賞者、各賞入賞者約10名の賞品は後日郵送する、というものでした。結果は、チャリティーゴルフの趣旨にご賛同いただき参加された方は117名、募金や賞金をご提供いただいた企業や個人の方々は32件、BAPY基金は895,000円を頂くことができました。

困難な時にもかかわらず、予定の100名を超える方々のご参加は私たちにあらためて大きな勇気と感動を与えてくださいました。心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスも夏ごろまでには何とか収まり、YMCAの様々なプログラムに、希望するすべての子どもたちが参加できますようお願い、元気な便りを待っています。

そんな思いの中、3月17日(火)には湘南とつかYMCAに、翌18日(水)には関内中央YMCAに、それぞれ所用で出掛けました。そして、どちらの玄関口とも、‘何と静かな…’ 一瞬、正にオドロキ…のひと言…。マスク姿のフロントも日ごろの跳ね返る様なトーンが返ってきません。‘三月一杯こういう状況で…’ とのことでした。

そう、この原稿を書いているのは3月21日(土)の昼間、フト脇のカレンダーに目を移せば、今日は ‘新・旧総主事の就・退任式’ の日、これも規模縮小の上行われたとか…。

そして、又々 たった今、BAPY事務局の鴨下主事からメールが…、以前から要請されていたPCによるBAPY基金委員会が開かれ、委員である私は、意見を添え回答しました。BAPYとは、Be a Partner of the Youthの頭文字、‘子どもたちのパートナーになろう’ というので、「横浜YMCA子ども支援基金」を意味し、YMCAが実施するスポーツやキャンプなどの様々な活動に経済的な理由で参加困難な子ども(青少年)に対し、参加費用の一部または全額をこの基金から援助する制度のことで、チャリティーゴルフ益金や皆様からの献金などが、その有力な資金源となっています…と。

- なお、上記17日には会長及び担当主事と以下打合せました。
- ① 4月4日(土) 吉原ワイズのお世話で、‘竹の子例会’。
 - ② 6月に迫った東日本区大会など、現状では参加不可能。
 - ③ 今後の日程については、周囲の状況を見て判断する。

以上

☆感謝をもって☆ 大高 聡



このたび、人事異動により2020年3月31日付けをもちまして、湘南とつかYMCAを離任することになりました。横浜とつかワイズメンズクラブの皆さまをはじめ多くの方のご支援ご厚情のもと10年の永きにわたり、館長として戸塚地域の青少年教育活動及び社会福祉活動に関わり、地域の皆さまとともに働く機会が与えられましたことを心より感謝申し上げます。4月からは、横浜YMCA副総主事(横浜中央YMCA館長兼務)としての役割を与えられました。これからも、その働きを通じて地域に根差したYMCA活動を推進して参りますので、ひきつづきのご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

なお、後任には4月1日付けで山中奈子(現横浜北YMCA館長)が館長として着任いたしますので、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

とつかクラブの皆様への言い尽くせぬ感謝をもって、離任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

(この程、横浜YMCAの副総主事になられた元館長でクラブメンバーの大高聡さんから、上記のような離任のご挨拶文をいただきました。ご栄転、おめでとございます。同君の今後 益々のご清祥・ご発展とご健勝を クラブ員一同心より祈っております。 会長)

【特別寄稿】

☆ラオス名誉領事ってなあに？…☆



元西日本区理事 大野 嘉宏 (京都パレスクラブ)
加藤 利榮さんからメールを頂き、ワイズ名簿の私の職業欄が‘ラオス名誉領事’となっているけれど、何をしているの？…とのお問い合わせを頂いたので寄稿させていただきます。

まず、名誉領事とは本来自国の費用で相手国に領事館を作り、領事を置かなければならないのですが、ラオスの様に国家予算の乏しい国は、相手国にその役目を依頼する制度があるのです。

私は、2008年にロータリークラブの会長をした時に、ワイズで培った国際奉仕の感覚でラオスに中学校を建てたことがロータリー機関誌に載り、それが日本の外務省の目に留まって、一年間の身元調査の結果、2011年に在京都ラオス人民民主共和国名誉領事に就任いたしました。ラオス外務省からの任命です。

‘名誉’という冠のもと領事館の運営はかすすべての費用を自腹という過酷な役目ですが、ワイズ人生の集大成と思ひ、日々こなしております。

2012年に京都市長からとんでもない事を頼まれました。丁度、大改装工事をしていた京都市動物園の中に、大きな‘ゾウの森’を造る計画があるのに、ワシントン条約で、どの国からも象を買えないことが分かり、最後の頼みで、ラオスに掛け合っただけ…との切なる依頼でした。

私は、色々手を尽くして2年程費やしましたが、2014年、京都市の希望どおり、4頭の子象を‘寄贈’の形で貰い受け、お陰で現在、京都市動物園の一番の人気ものになっています。このことで、京都市とラオスの首都ビエンチャン市がパートナーシティを締結し、いっそう交流が活発になりました。

2017年には、京都市から中古の市バス34台が寄贈され、色など外観はそのままで、現在もビエンチャン市内で活躍しています。

一方、ラオスは東南アジアで唯一、YMCAの無い国です。これは社会主義国という国柄、キリスト教の団体に対する偏見から認可されないのです。私はワイズメンとして、ラオスに何らかの形でYMCAが創られることのお役に立てる事が、次の重要な仕事だと考えています。

困難が予想されますが、今までの政府関係者や実業家との人脈を活用するなどして、頑張りたいと思っております。

共に成功をお祈りください。

(大野 嘉宏様、お忙しい中、原稿を有り難うございました。)

アンジュ通信

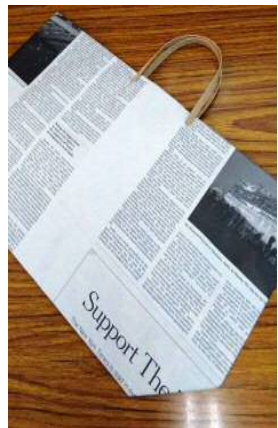
横浜 YMCA ワークサポートセンター

施設長 相馬 良文

新型コロナウイルスの影響で、YMCAのプログラムが休止となり、パン販売の活動も縮小しながらも、活動を継続しております。多くのお支えに感謝です。さて、7月からのレジ袋有料化の制度

改革に備え、環境保護を進めていくため、マイバッグの利用促進の呼び掛けを開始します。袋のご用意がない方のために、新聞紙を活用したトートバッグの作成を始めました。山型食パンが入る大きさを基本に4月の販売から導入し、1枚10円のご負担をお願いしていく予定です。

YMCAのSDGs(持続可能な開発目標)の働きと連動して、マイバッグの利用をお伝えし、広めていきます。



☆強力なサポーターとして☆

横浜 YMCA 総主事 佐竹 博



横浜とつかワイズメンズクラブの皆様、いつも湘南とつかYMCAはじめ横浜YMCAをお支えいただきありがとうございます。日ごろからのご奉仕に感謝申し上げます。

先月までコロナウィルス感染防止のために、YMCAも多くのプログラムを休止・中止の対処をいたしましたため、休館中にはワイズメンズクラブはじめ皆様の会合や活動場所への制約など、ご面倒をお掛けいたしましたこと、お詫び申し上げます。

今年度より横浜YMCA総主事を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私がとつかクラブの皆様と初めて活動を共にさせていただいたのは、第1回のチャリティーランの時(22年前)にさかのぼります。実行委員会の協賛と商品獲得担当班のうちの一つの担当でした。その班にとつかクラブの方がおられ、他の委員の方々と中華街や商店街へ協力依頼に行ったのが懐かしく思い出されます。次に、ワイズメンズクラブの働きに深く関わったのは、2004年から2006年に日本YMCA同盟に出向した時でした。東日本区の担当主事として関わり、たくさんのことを学びました。加藤利榮ワイズが区の役員におられたので、その都度気に掛けていただき、多くのワイズメンをご紹介いただいたり、ワイズとYMCAの仕事の協働の‘キモ’を教えていただいたりと、大変学びを深めた時でした。

現在、とつかクラブから、リーダー交流会、YMCA い〜とつか祭、ピンクシャツデー・ワイズ幼児サッカー大会をはじめ多くの活動に共催、協働、ご支援をいただいております。YMCAプログラムの強力なサポーターです。

これからも力強くお支えいただけますよう、よろしくお願いいたします。

(次期会長に内定の若木さんから、早くも会長主題と事業計画案が提示されましたので、ご参考までに掲載します。)

☆次年度活動計画(案)☆ 若木 一美

◇ 会長主題: ‘咲かそう 人の輪’

- 7月4日(土) 総会・大下さん・古田部長 21日(火) 事務会
8月1日(土) 夏休み休会 18日(火) //
9月5日(土) 例会 山中館長大いに語る 15日(火) //
10月3日(土) 例会 小田原北條祭り(北村氏) 20日(火) //
11月3日(火・祝) YMCA い〜とつか祭 17日(火) //
12月5日(土) リーダー研修報告・交流会 15日(火) 納会
1月16日(土) YMCA-Y's 合同新年会 19日(火) 事務会
2月11日(木・祝) YMCA 会員大会・会員増強月間
2月14日~15日 湯ったり・湯つくり ‘河津桜ツアー’・伊豆高原(泊)
2月26日(金) ピンクシャツデー(ワイズ幼児サッカー大会)・事務会
3月6日(土) 東日本大震災関連行事参加支援 16日(火) 事務会
4月3日(土) レクリエーション・クラフト教室 (日未定) 竹の子例会
5月11日(土) ゴールデンウィーク休会 18日(火) 事務会
6月12日~13日 東日本区大会(甲府) 15日(火) //

以上

～ピンチは最大のチャンス～

2020 年を迎え 3 カ月が過ぎました。新年を迎えたところに、まさか日本が・世界が、今の状況になっていることを想像していた方がおられたでしょうか…？

新型コロナウイルスは、昨年 11 月に発生が確認され、同年 12 月 31 日に最初に世界保健機構(WHO)に報告されました。その後、19 年から今年 20 年にかけて発生した中国・武漢での大流行の時は、まだ日本では「対岸の火事」でした。

実際の私たちの業務に影響が出てきたのは 2 月末からです。春期講習からキャンプの中止、果ては、3 月のすべてのプログラムが中止…と、状況は日々悪化していきました。

そんな中、私たちに出来ることはないか？…と考えて健康教育で取り組んだのが「ウェルネス・デリバリー」です。全体で、自宅で運動できる動画を HP やブログで公開して会員や地域の方のためになればと動き出しました(写真)。全国の YMCA にも取り組みが広がり、他の事業部にも波及していきました。また、NHK や民放各局からも取材依頼が来て、YMCA の取り組みが各地に紹介されました。

通常の事業活動が出来ない今だからこそ、こういう新たな発想が生まれます。まだまだ先が見えない状況ですが、ピンチをチャンスに…と考え、こういう時だからこそ、色々なことに挑戦しようと思います。会員や地域の皆さんのために求められるものを提供できるよう、活動・発信していきます。



☆今月の歳時記から☆

‘桜 さくら’ と ‘花見 はなみ’

‘桜’、サクラは何と言っても花の中の王様である。

‘花王’とも言われ、古来、特に日本人に賞された。‘花’と言えば‘桜’のことであり、日本を代表する花である。ヤマザクラ、ヒガンザクラ、ソメイヨシノなど、自生種だけで三種以上、栽培種を加えれば数百種に及ぶと言われる。朝の澄んだ時や夕暮れの静かな光の中で観る桜は、殊に惹き付けられる。

命二ツの中に活きたる桜かな	芭蕉
明星や桜さだめぬ山かづら	其角
露の葉に煮配りて山桜	一茶
一本の桜のために廻り道	弘子

次に‘花見’、古代の花見はサクラでなく梅であったといわれる。桜を賞する習慣は平安時代に起こった。当時はおっぱら貴族の行楽で、酒を飲みながら詩歌を詠んだ。庶民の行楽となったのは元禄以降のこと。秀吉の‘醍醐の花見’は有名。

昔、農村では、花見は農作に先立って守らなければならぬ春の儀礼のひとつで、これを‘花見正月’と言った。

うかうかと来ては花見の留守居かな	丈草
老いそめて花見のころひろやかに	蛇笏
外れたる予測の花見とはなりぬ	汀子
切り株に足りし二人の花見膳	明子

(乍)



- > 4/4 (土) 第 1 例会・‘竹の子’ 第 1 例会・吉原邸・10:00
- > 4/18 (土) 湘南・沖縄部部評議会・中央 YMCA・13:30
- > 4/21 (火) 第 2 例会・湘南とつか YMCA 204 号室・18:30
- > 5/19 (火) 第 2 例会・ //

～4月・5月会会のご案内～

① 今月の例会は以下の様に振り替えます。

◎ 第 1 例会：4/4 恒例の竹の子例会

△ ‘掘り’ 希望の方は、前もって吉原さんまで

△ 戸塚駅(東口・交番前・江ノ電バス)

9:37・見晴橋行き・「下倉田中央」下車

◎ 第 2 例会：4/21・18:30 とつか Y204 号室
大事な協議がありますので、よろしく…。

～Happy Birthday～

川津 政義さん 4月17日

【掲示板】

会長

◎ 館長交替の件

① 本号 2 枚目に、大高館長の離任の挨拶文が載っております。大高さんには、私たちクラブ員一同、まだ館長になられる前から～クラブが出来て間もない頃から～お世話になりっぱなしでした。こちらこそ、心より感謝をもって、お礼申し上げます。

② 新たにお見えいただく山中奈子様、5 年ほど前に 1 階でお世話になりましたが、今度は館長さんとしてお世話をお掛けすることになりました。

クラブの仲間としても、なにとぞよろしく…。

◎ 次年度活動計画(若木案)の件

① 次年度とつかクラブの活動計画(案)が若木次期会長から示されました(前頁参照)。

② 例年の YMCA イベントへの支援のほか、例会時の卓話者や 1 泊旅行など、楽しい行事もあります。

③ ノロウイルスなどなんのその…といった会長主題、‘乞う、ご期待…’ですわ…。

◎ ‘横浜青年’配付の件

① この程、横浜 YMCA 広報室から、SDGs(持続可能な開発目標)の一環として、毎月送られてくる「横浜青年(YMCA News)のメール配信の登録をお願いしたい。」旨の連絡がありました。ご覧になられた方もおられると思います。

② PC ご利用の方は、できるだけ登録され、専用のサイトからの配信にご協力ください。

③ 連絡先：☎ 045 (662) 3 7 2 1 池田直子さん

【後記】

春 4 月、待ちに待った入学式、ピッカピカの 1 年生、そして どの企業でも入社や人事異動が…となる年度替わり、この当たり前の風景が今年も…。でも、わたしたちには‘Change! 2022’があります…。